

平成28年度決算状況 「株式会社秋川総合開発公社」 「新四季創造株式会社」

株式会社秋川総合開発公社

株式会社秋川総合開発公社は、都市計画事業や市街地開発事業などに関する企画、立案、設計の受託業務などを主な業務として、昭和63年に設立された資本金1億円の株式会社です。出資団体は、あきる野市、あきる野商工会、秋川農業協同組合などです。なお、発行済株式総数2,000株のうち、1,100株をあきる野市が保有しています。

○事業概要 平成28年度は、あきる野ルピアの管理業務、テナントの管理運営、管理組合関係の運営業務などを行いました。売上高は、複合ビル関係収入や指定管理関係収入など8,172万円で、経常利益は324万円です。また、当期純利益は306万円です。

○資産概要 平成28年度末の会社の資産総額は、1億5,134万円です。資産の内訳は、現金や預金などの流動資産が2,572万円、建物などの固定資産が1億2,562万円です。負債は、預り保証金などの流動負債が2,202万円、固定負債では長期借入金などが5,042万円です。この結果、差引正味財産は、7,890万円です。

貸借対照表

(資産の部) 流動資産+固定資産	1億5,134万円
(負債の部) 流動負債+固定負債…①	7,244万円
(純資産の部) 株主資本…②	7,890万円
負債・純資産合計(①+②)	1億5,134万円

新四季創造株式会社

新四季創造株式会社は、温泉施設の管理と運営を主な業務として、平成18年に設立された資本金2,000万円の株式会社です。出資団体は、あきる野市、あきる野商工会、秋川農業協同組合、あきる野市観光協会、十里木・長岳農畜産物等直売組合です。なお、設立に際して発行した株式総数400株のうち、204株をあきる野市が保有しています。

○事業概要 秋川渓谷瀬音の湯と秋川渓谷戸倉体験研修センターの管理・運営を行いました。売上高は、瀬音の湯事業で、温泉、宿泊、レストランなどの収入、戸倉体験研修センター事業で、レストラン、収穫体験などの収入により、4億5,244万円で、経常利益は752万円です。また、当期純利益は584万円です。

○資産概要 平成28年度末の会社の資産総額は、1億5,100万円です。資産の内訳は、現金や預金などの流動資産が1億2,316万円、器具備品などの固定資産が2,784万円です。負債は、未払金などの流動負債で6,738万円です。この結果、差引正味財産は、8,362万円です。

貸借対照表

(資産の部) 流動資産+固定資産	1億5,100万円
(負債の部) 流動負債…①	6,738万円
(純資産の部) 株主資本…②	8,362万円
負債・純資産合計(①+②)	1億5,100万円

※貸借対照表は、決算時点(平成29年3月31日)で会社(公社)が保有する資産、負債などの財政状況を示したものです。

市有財産の状況

- 土地面積(学校敷地など)…598万8,617㎡
- 建物面積(庁舎など)…19万5,984㎡
- 自動車保有台数(消防車両27台を含む)…92台
- 出資金などの現在高…9,787万円
- 基金の現在高…38億2,002万円

市債の状況

市債の目的		市債の現在高
一般	土木債(道路などの整備のために)	39億7,070万円
	教育債(学校や図書館などの整備のために)	30億2,172万円
	衛生債(保健センターなどの整備のために)	28億3,321万円
	総務債(庁舎建設などのために)	20億7,885万円
	商工債(観光施設などの整備のために)	6億5,249万円
	消防債(消防施設の整備のために)	2億6,327万円
	民生債(保育所などの整備のために)	9,721万円
計	臨時財政対策債※1(財源確保のために)	133億8,583万円
	減税補てん債※2など(財源確保のために)	7億3,443万円
計		270億3,771万円
下水道事業特別会計(下水道の整備のために)		212億9,159万円
合計(①)		483億2,930万円
平成27年度末現在高(②)		505億7,517万円
差し引き(①-②)		△22億4,587万円

※1 臨時財政対策債とは、国から地方公共団体に分配する地方交付税が足りないため、その不足する金額の一部を借り入れる市債で、その元利償還金は後年度に地方交付税として措置されます。

※2 減税補てん債とは、国の減税政策による個人住民税などの減収を埋めるために借り入れる市債で、その元利償還金は後年度に地方交付税として措置されます。

(参考)一部事務組合の借入金などで、当市が将来的に負担すべき額

区 分	現 在 高
一部事務組合	
阿 伎 留 病 院 企 業 団	45億6,188万円
西 秋 川 衛 生 組 合	24億5,481万円
秋 川 流 域 斎 場 組 合	2億 273万円
合 計(①)	72億1,942万円
平成27年度末現在高(②)	76億9,894万円
差 し 引 き(①-②)	△4億7,952万円

健全化判断比率と資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、健全化判断比率(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)と資金不足比率を算定し、公表することが義務付けられています。あきる野市は、いずれも基準以下となりました。

○健全化判断比率

- 実質赤字比率…一般会計などの赤字の、標準財政規模に対する比率
- 連結実質赤字比率…戸倉財産区特別会計を除く全会計の赤字の、標準財政規模に対する比率
- 実質公債費比率…実質的な公債費(全会計の公債費のほか、一部事務組合の公債費に対する負担金など)の、標準財政規模に対する比率
- 将来負担比率…一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の、標準財政規模に対する比率

健全化判断比率 (単位：%)

区 分	あきる野市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	12.69	20.00
連結実質赤字比率	赤字なし	17.69	30.00
実質公債費比率	7.8	25.0	35.0
将来負担比率	53.7	350.0	

○資金不足比率 公営企業会計における資金不足額の事業規模(料金収入)に対する比率

資金不足比率 (単位：%)

区 分	あきる野市	経営健全化基準
下水道事業特別会計	資金不足なし	20.00

▽ 問合せ(直通)558-2438

▽ 場所 秋川キララホール

▽ 日時 12月2日(土) 午後1時

● 内容 中学生の主張大会：市内在住・在学の中学生(応募者95人)の中から選ばれた14人が発表します。

*発表者(発表順、敬称略)：片山美里(秋多中)、飯田吏雄(西中)、関口詩七(五市中)、星愛結美(御堂中)、谷合樹利(東中)、伊藤由希(増戸中)、村田彩葉(菅生高校中等部)、田中みなみ(西中)、古沢萌絵(菅生高校中等部)、大野瞳子(五日市中)、田口愛洗(御堂中)、八柳航太郎(秋多中)、今田和希(東中)、米山ことみ(増戸中)

● 小学生人権メッセージ発表：市内小学校の代表5人の児童が人権メッセージを発表します。

● 中学校の紹介展示(ポスター)：市内中学校の特色ある取り組みや、中学生のボランティア活動の風景などのポスター展を実施します。

▽ 学習係(直通)558-2438



平成29年度
あきる野市教育の日
第22回
未来を築く青少年健全育成
あきる野市大会